

カヌーリレーを楽しむ

ふるさと体験学習

県B & G財団地域海洋センター連絡協議会主催のふるさと体験学習サマースクールが8月2日、明和町B & G海洋センターで開かれました。この学習は、環境保全に関する意識の養成とリーダー的役割を担う青年へと成長することが目的。同スクールのカヌー教室に参加した県内の小・中学生12人は、カヌーの乗降法や基本姿勢、漕ぎ方を講師から熱心に学んだ後、二組に分かれてカヌーリレーを楽しみました。



多くの友達をつくりたい

中学生国際交流壮行会



中学生国際交流研修事業の壮行会が8月9日、斎藤町長ら約40人が出席して中央公民館で開かれました。この事業は、豊かな国際感覚を身につけた生徒の育成が目的です。豪州のコーローハイスクールへ派遣されるのは、7人の生徒と引率者の堀口総務課長、小山教諭の2人。生徒代表の石村亮介さんが「多くの友達をつくり強い友情関係が結べるよう努力したい」と述べ、生徒全員が海外に向かう抱負を語りました。

身近な法律知識を学ぶ

出前講座



教育委員会主催の出前講座が、8月30日に東小学校体育館会議室で開かれました。この講座は身近な法律を町民の皆さんに、やさしく学習していただくことが目的。24名が参加し、生活に密接に関わる親族の範囲や婚姻、親子関係に関する家族法等について学びました。参加者は熱心にメモを取りながら、講師の説明に耳を傾け、「とてもわかりやすく法律を学ぶことができました」と話していました。

身を守る技に挑戦

護身術講習会

体育協会主催の護身術講習会が8月8日、少林寺拳法会長の砂賀晃さんから3名を講師に迎え、中央公民館で行われました。参加した19名は、講師の説明や技術を見た後、2人1組になり、真剣に目打ちや金的等の相手から逃げるための簡単な技に挑戦しました。参加者は「初めてで難しかったです。この講習で、習ったことをいざというときに慌てずに実践したい」と話していました。

